【経済産業省】ヒアリング時に持ち帰りとなった件への回答

Q：ボルヴィックの「1ℓ for 10ℓ」プログラム※のような、ＮＰＯが企業活動と上手に連携した事例を紹介してほしい。【NPO 法人 ZIRITSU　三浦宏一郎さんより】
※「1ℓ for 10ℓ」プログラムは、ボルヴィックが清潔で安全な水の普及を目指すユニセフ支援活動で、ボルヴィックが 1ℓ 購入されると、アフリカに住む人々に 10ℓ の清潔で安全な水が供給する。
Ａ：ご質問に関し、以下のような連携事例がございます。経済的・社会的インパクトはさほど大きなものではございませんが、当該プロジェクトを発端として NPO サポートにより起業が実現するなど、着実な成果を生み出しつつあります。
【支援事例】 女性起業家応援プロジェクト『女性のための起業セミナー』（山梨中央銀行・NPO 法人 bond place・山梨県信用保証協会・日本政策金融公庫・山梨県）
• 女性起業家応援プロジェクト「女性のための起業セミナー」を企画する段階で、各支援機関・山梨県・女性起業家等が集まり、1 年後・3 年後・5 年後の理想の姿を共有する。
• プロジェクトを通じて、ステークホルダー同士が一緒になって成長できる関係性ができることで当事者意識が育まれ、シームレスな支援の土台が構築。
• 女性が起業したいと思ったときに、地域でチャレンジできる環境が整えられるよう、プロジェクト期間でなくても、いつでも、女性が気軽に相談できる、金融機関や行政の支援機関と繋がりが重要。プロジェクトでは、ワークショップの中で、女性と地域の支援機関の温かい繋がりを築けるような場づくりの工夫を行う。
【起業事例】
「フェリチタ研究所」
代表の松本氏は、山梨県をベースに活動する NPO 法人 bond place のサポートを受け、自身が暮らす八ヶ岳地域の野菜を使った健康志向のドレッシングを製造・販売する事業を開始。忙しい家庭の食卓に笑顔を届け、幸せにする手助けとなるような商品作りを目指している。
http://www.felicitaoffice.com/?mode=sk
https://www.mirasapo.jp/features/empathy/vol13/index.html